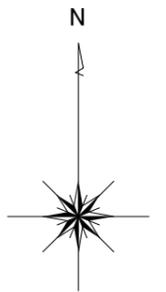
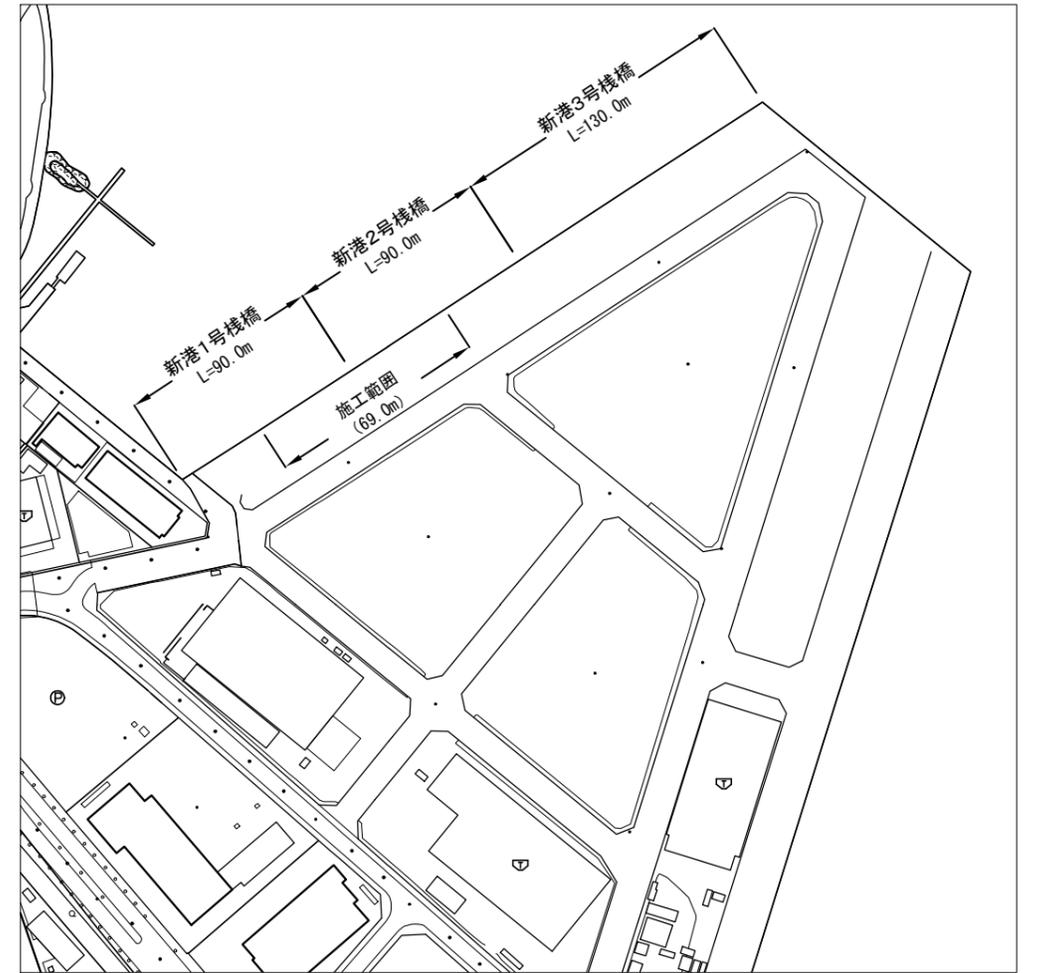
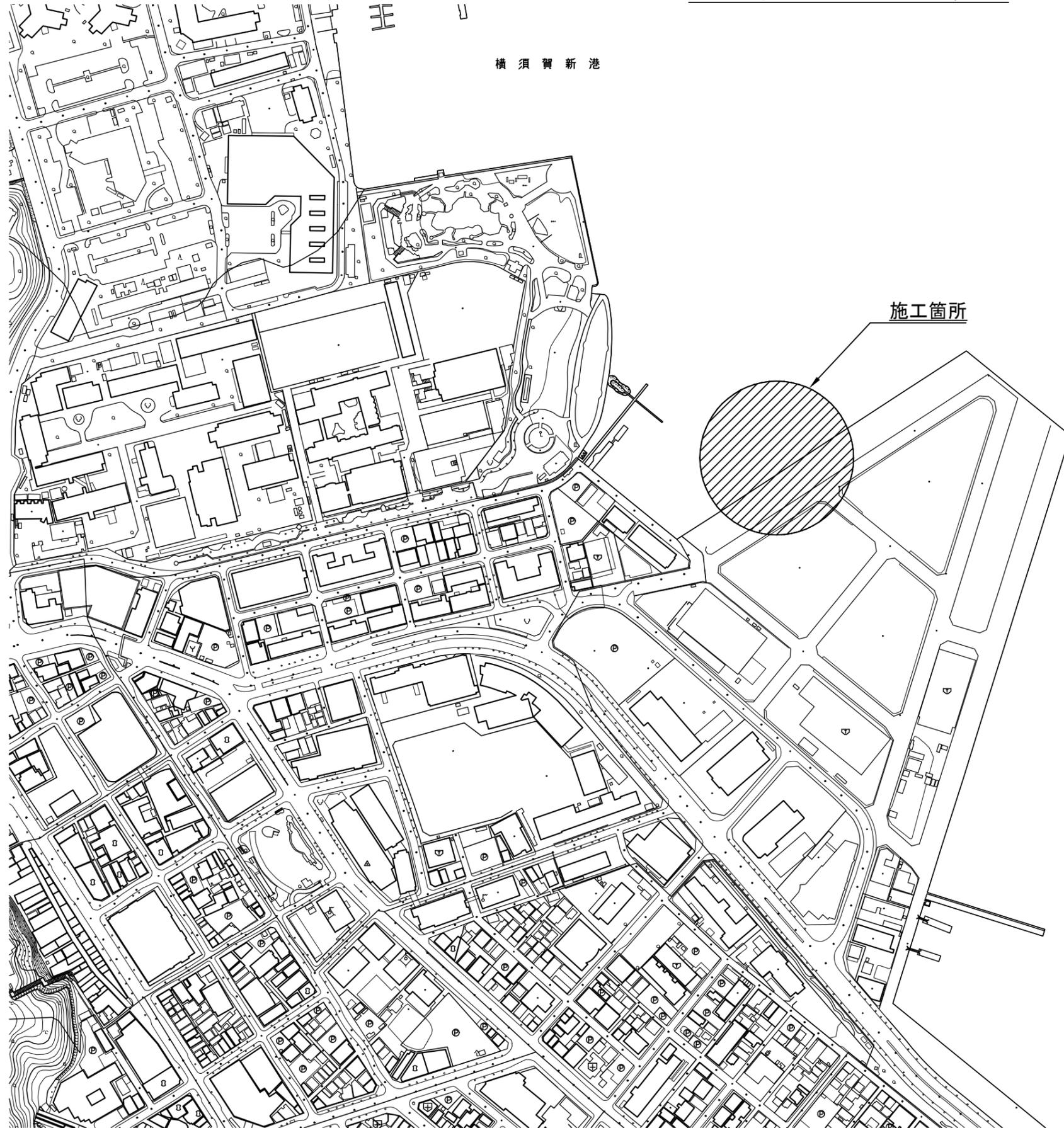


## 設 計 図

工事名称	令和5年度新港地区新港1,2号栈橋改良工事		
図面名称	図面一式	縮尺	各 記
課長		係長	設計
令和5年6月設計		図面番号	15枚の内1
横須賀市 港湾部 港湾整備課			

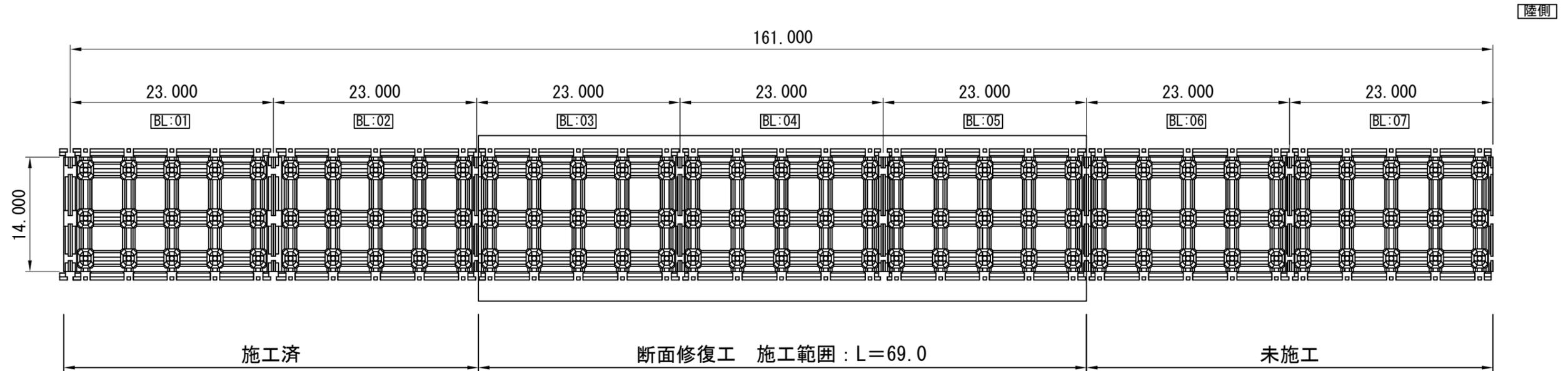
位置図 S=1:4,000



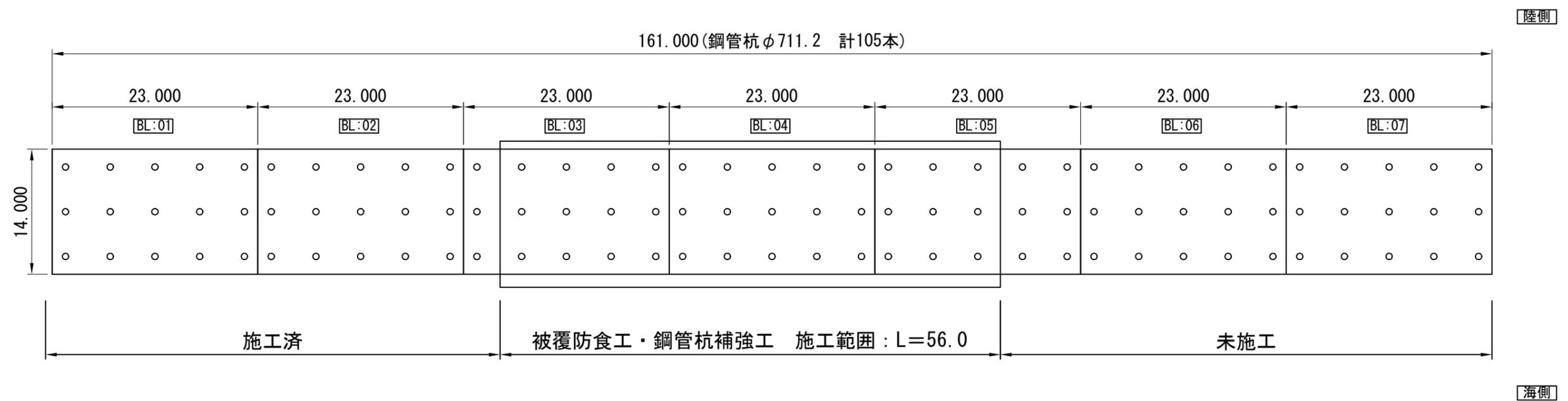
工事名称	令和5年度新港地区新港1, 2号栈橋改良工事		
図面名称	位置図		
図面番号	15枚の内2	縮尺	1/4,000

新港 1, 2号栈橋平面図 S=1:500 u:m

上部工（下面部）・下部工（被覆防食部）

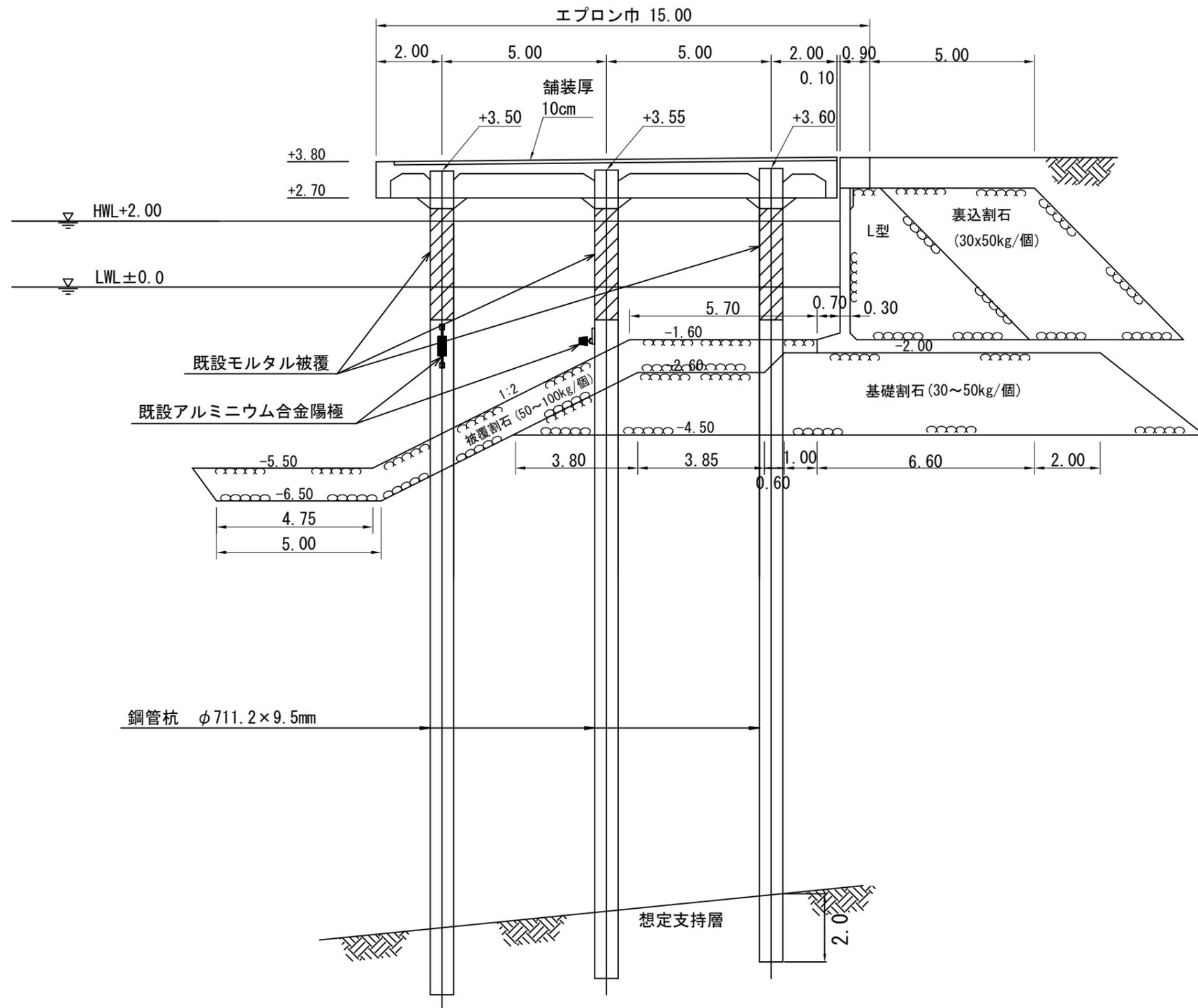


下部工（鋼管杭部）



工事名称	令和5年度新港地区新港1, 2号栈橋改良工事		
図面名称	新港1, 2号栈橋平面図		
図面番号	15枚の内3	縮尺	1/500

新港 1, 2号栈橋標準断面図 S=1:150 u:m

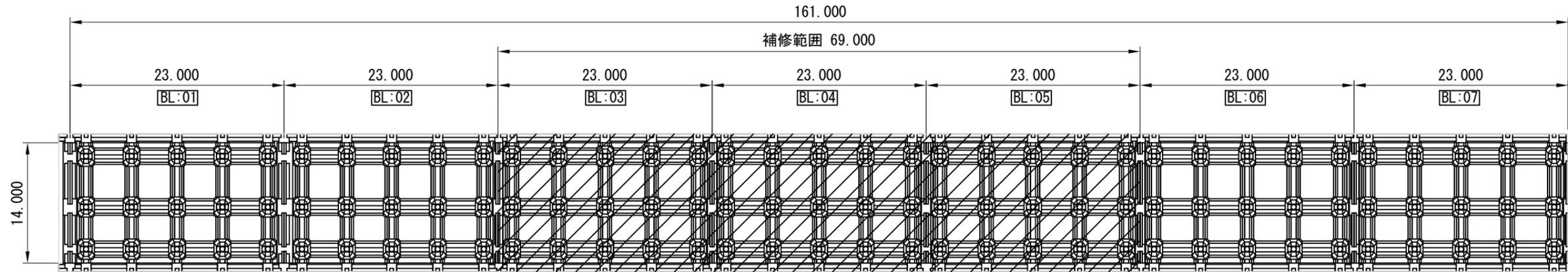


工事名称	令和5年度新港地区新港1, 2号栈橋改良工事		
図面名称	新港 1, 2号栈橋標準断面図		
図面番号	15枚の内4	縮尺	1/150

# 新港 1, 2号栈橋上部工(下面部)補修図

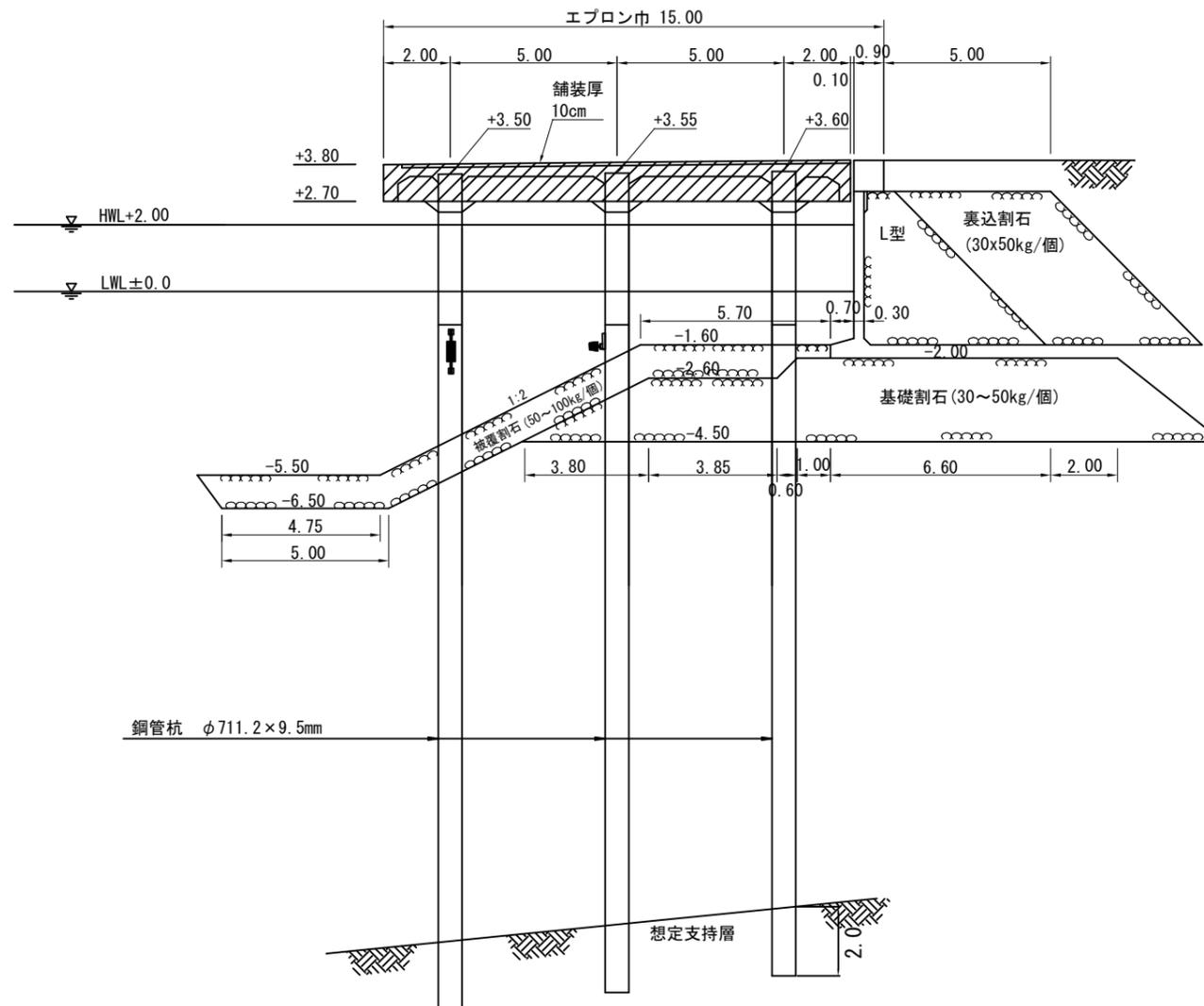
上部工(下面部) 平面図 S=1:500 u:m

▨: 補修範囲(断面修復工)



標準断面図 S=1:200 u:m

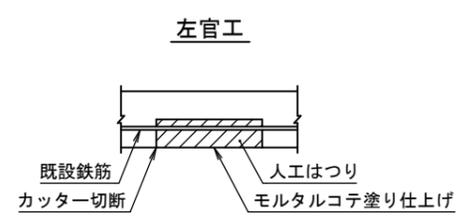
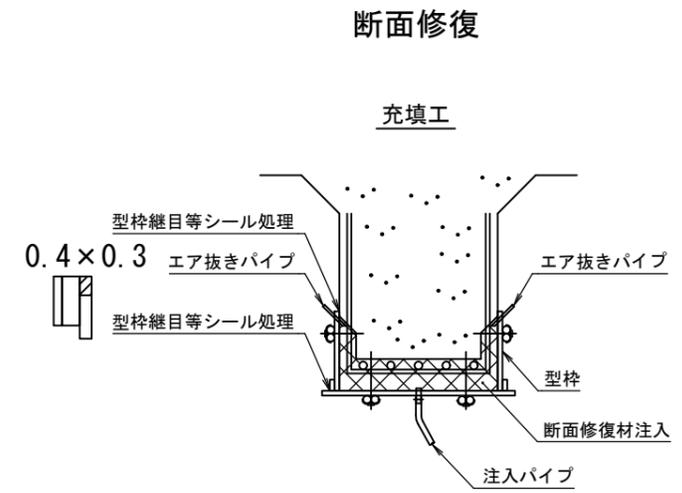
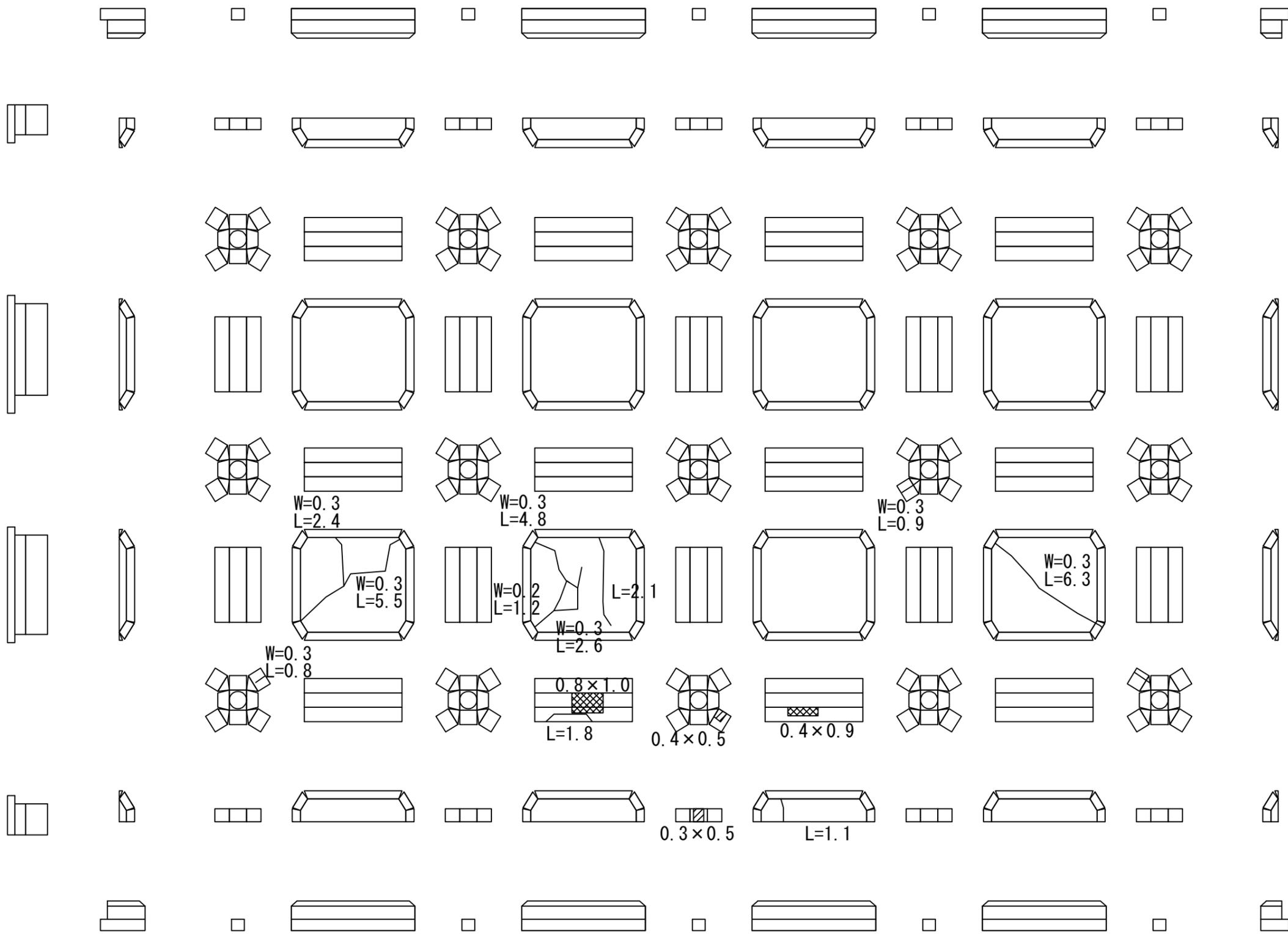
▨: 補修範囲(断面修復工)



工事名称	令和5年度新港地区新港1, 2号栈橋改良工事		
図面名称	新港 1, 2号栈橋上部工(下面部)補修図		
図面番号	15枚の内5	縮尺	図示

# 新港 1, 2号栈橋上部工(下面部)補修展開図 S=1:150

BL:03



一般的な断面修復材の品質規格値

項目	品質規格値	試験方法
圧縮強度	30.0N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS A 1108
曲げ強度	3.0N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS A 1106
乾燥収縮率	20×10 <sup>-4</sup> 以下(3ヶ月)	JIS A 1129
ブリージング率	1.0%以下	土木学会規準
水和熱	できるだけ小さいこと	
耐海水性	浸漬後にふくれ、われなどの変状がないこと	
温冷繰り返し抵抗性	浸漬後にふくれ、われなどの変状がないこと	日本道路公団方式
付着強度(標準養生後)	1.5N/mm <sup>2</sup> 以上	建研式付着力試験
塩化物イオン拡散係数	できるだけ小さいこと	

補修数量表

損傷	補修方法	工法	深さ(m)	表示	数量(箇所)	面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )	長さ(m)
浮き・剥落 鉄筋露出	大断面修復	充填工	0.100		2	1.16	0.116	
	小断面修復	左官工	0.100		3	0.47	0.047	

工種	単位	数量
コンクリート研り・搬運搬	m <sup>2</sup>	0.163
鉄筋除錆	m <sup>2</sup>	1.63

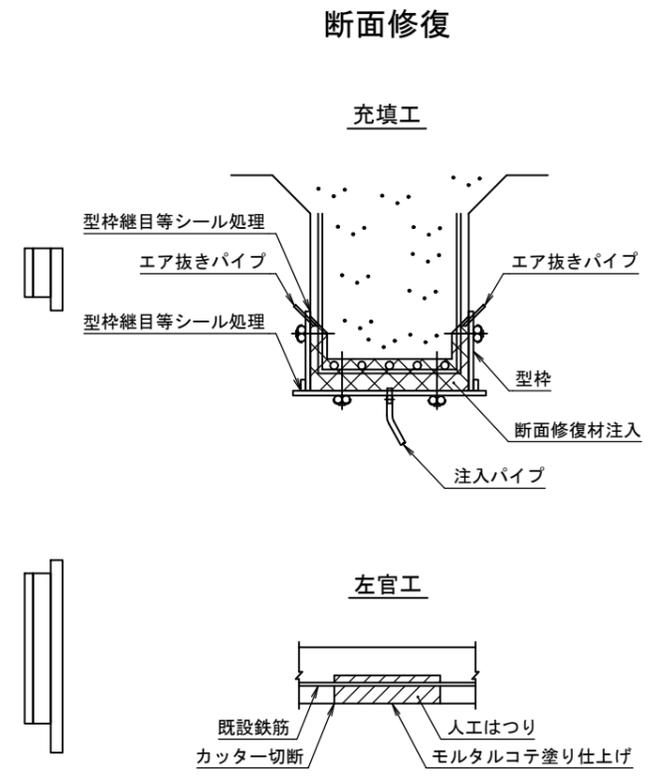
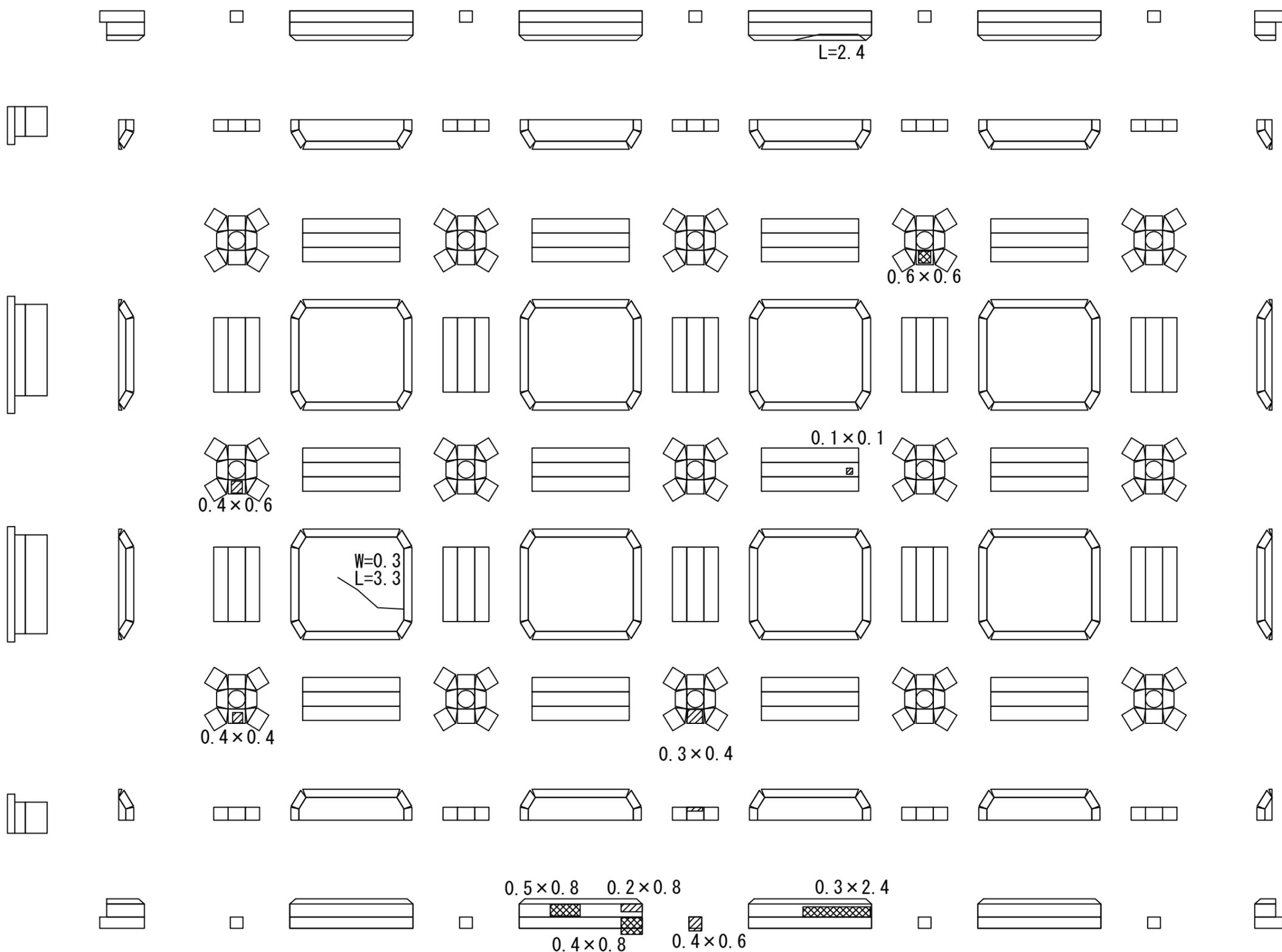
※鉄筋除錆は研り表面積を計上

- 注1) 施工時は現場損傷状況を確認し施工すること。
- 注2) 断面修復範囲は目視調査により確認した劣化範囲であり、劣化数量に変動があった場合は、監督員と協議の上決定すること。
- 注3) 断面修復材は性能照査を満し、乾燥収縮ひび割れ対策に配慮した材料を用いること。
- 注4) 研り深さは10cmとするが、支障物を除去する深さにより変更することもある。

工事名称	令和5年度新港地区新港1, 2号栈橋改良工事
図面名称	新港1, 2号栈橋上部工(下面部)補修展開図
図面番号	15枚の内6 縮尺 1/150

# 新港 1, 2号栈橋上部工(下面部)補修展開図 S=1:150

BL:04



一般的な断面修復材の品質規格値

項目	品質規格値	試験方法
圧縮強度	30.0N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS A 1108
曲げ強度	3.0N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS A 1106
乾燥収縮率	20×10 <sup>-4</sup> 以下 (3ヶ月)	JIS A 1129
ブリージング率	1.0%以下	土木学会規準
水和熱	できるだけ小さいこと	
耐海水性	浸漬後にふくれ、われなどの変状がないこと	
温冷繰り返し抵抗性	浸漬後にふくれ、われなどの変状がないこと	日本道路公団方式
付着強度 (標準養生後)	1.5N/mm <sup>2</sup> 以上	建研式付着力試験
塩化物イオン拡散係数	できるだけ小さいこと	

補修数量表

損傷	補修方法	工法	深さ (m)	表示	数量 (箇所)	面積 (m <sup>2</sup> )	体積 (m <sup>3</sup> )	長さ (m)
浮き・剥落 鉄筋露出	大断面修復	充填工	0.100		4	1.80	0.180	
	小断面修復	左官工	0.100		6	0.93	0.093	

工種	単位	数量
コンクリート研り・搬運搬	m <sup>3</sup>	0.273
鉄筋除錆	m <sup>2</sup>	2.73

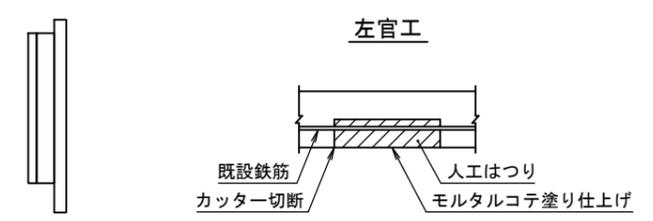
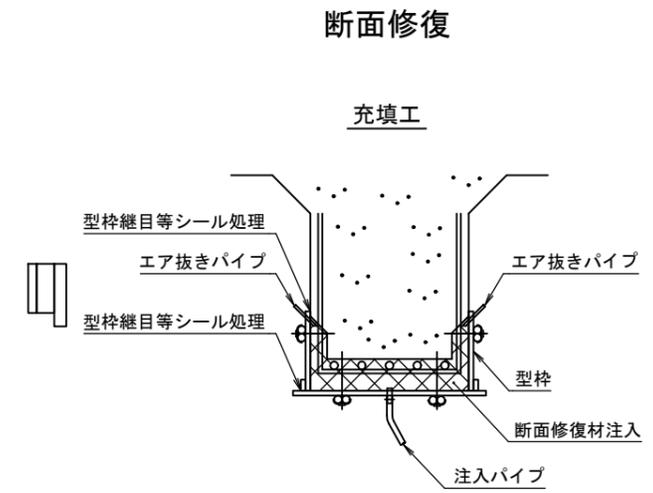
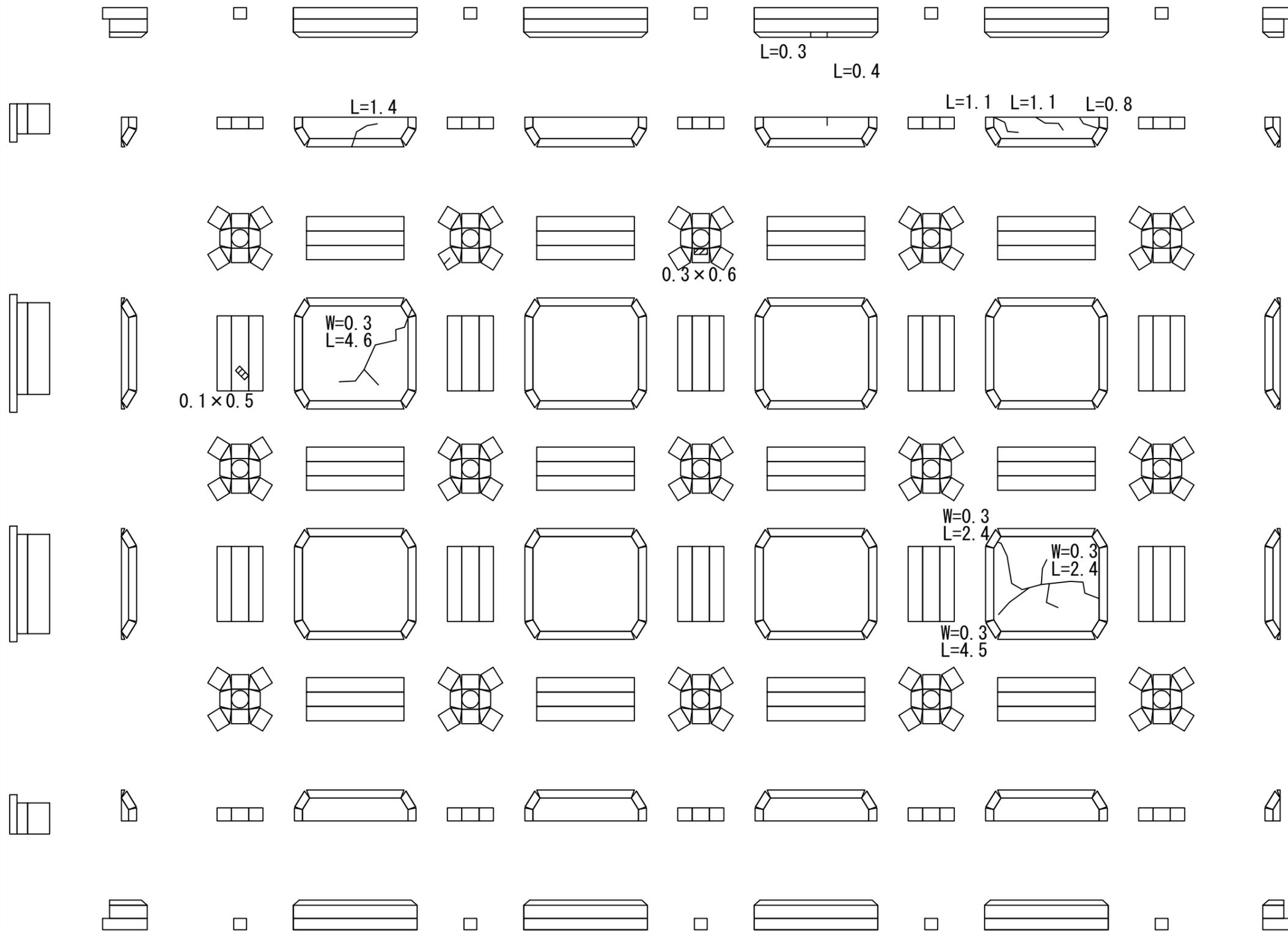
※鉄筋除錆は研り表面積を計上

- 注1) 施工時は現場損傷状況を確認し施工すること。
- 注2) 断面修復範囲は目視調査により確認した劣化範囲であり、劣化数量に変動があった場合は、監督員と協議の上決定すること。
- 注3) 断面修復材は性能照査を満し、乾燥収縮ひび割れ対策に配慮した材料を用いること。
- 注4) 研り深さは10cmとするが、支障物を除去する深さにより変更することもある。

工事名称	令和5年度新港地区新港1, 2号栈橋改良工事
図面名称	新港1, 2号栈橋上部工(下面部)補修展開図
図面番号	15枚の内7
縮尺	1/150

# 新港 1, 2号栈橋上部工(下面部)補修展開図 S=1:150

BL:05



一般的な断面修復材の品質規格値

項目	品質規格値	試験方法
圧縮強度	30.0N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS A 1108
曲げ強度	3.0N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS A 1106
乾燥収縮率	20×10 <sup>-4</sup> 以下 (3ヶ月)	JIS A 1129
ブリージング率	1.0%以下	土木学会規準
水和熱	できるだけ小さいこと	
耐海水性	浸漬後にふくれ、われなどの変状がないこと	
温冷繰り返し抵抗性	浸漬後にふくれ、われなどの変状がないこと	日本道路公団方式
付着強度 (標準養生後)	1.5N/mm <sup>2</sup> 以上	建研式付着力試験
塩化物イオン拡散係数	できるだけ小さいこと	

補修数量表

損傷	補修方法	工法	深さ (m)	表示	数量 (箇所)	面積 (m <sup>2</sup> )	体積 (m <sup>3</sup> )	長さ (m)
浮き・剥落 鉄筋露出	大断面修復	充填工	0.100		0	0.00	0.000	
	小断面修復	左官工	0.100		2	0.23	0.023	

工種	単位	数量
コンクリート研り・殻運搬	m <sup>2</sup>	0.023
鉄筋除錆	m <sup>2</sup>	0.23

※鉄筋除錆は研り表面積を計上

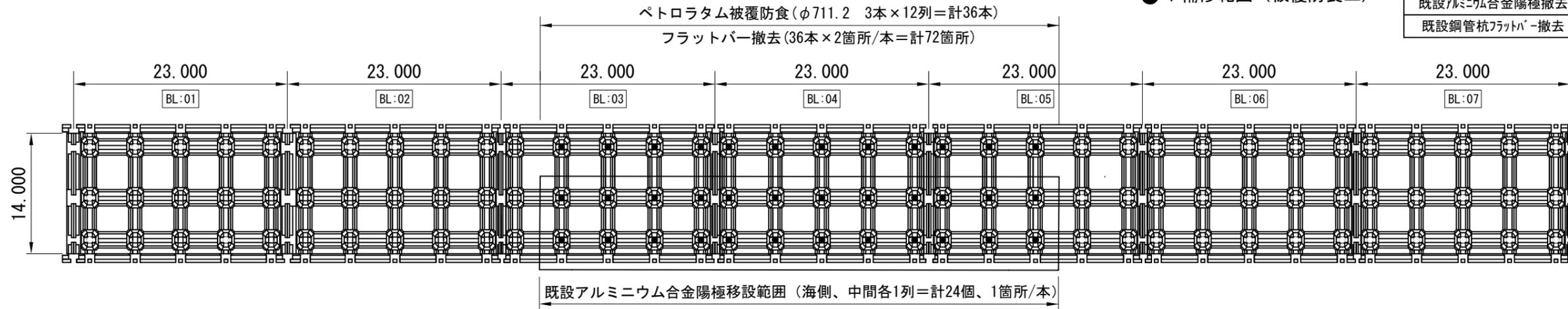
- 注1) 施工時は現場損傷状況を確認し施工すること。
- 注2) 断面修復範囲は目視調査により確認した劣化範囲であり、劣化数量に変動があった場合は、監督員と協議の上決定すること。
- 注3) 断面修復材は性能照査を満し、乾燥収縮ひび割れ対策に配慮した材料を用いること。
- 注4) 研り深さは10cmとするが、支障物を除去する深さにより変更することもある。

工事名称	令和5年度新港地区新港1, 2号栈橋改良工事
図面名称	新港1, 2号栈橋上部工(下面部)補修展開図
図面番号	15枚の内8
縮尺	1/150

# 新港 1, 2号栈橋下部工(被覆防食部)補修図

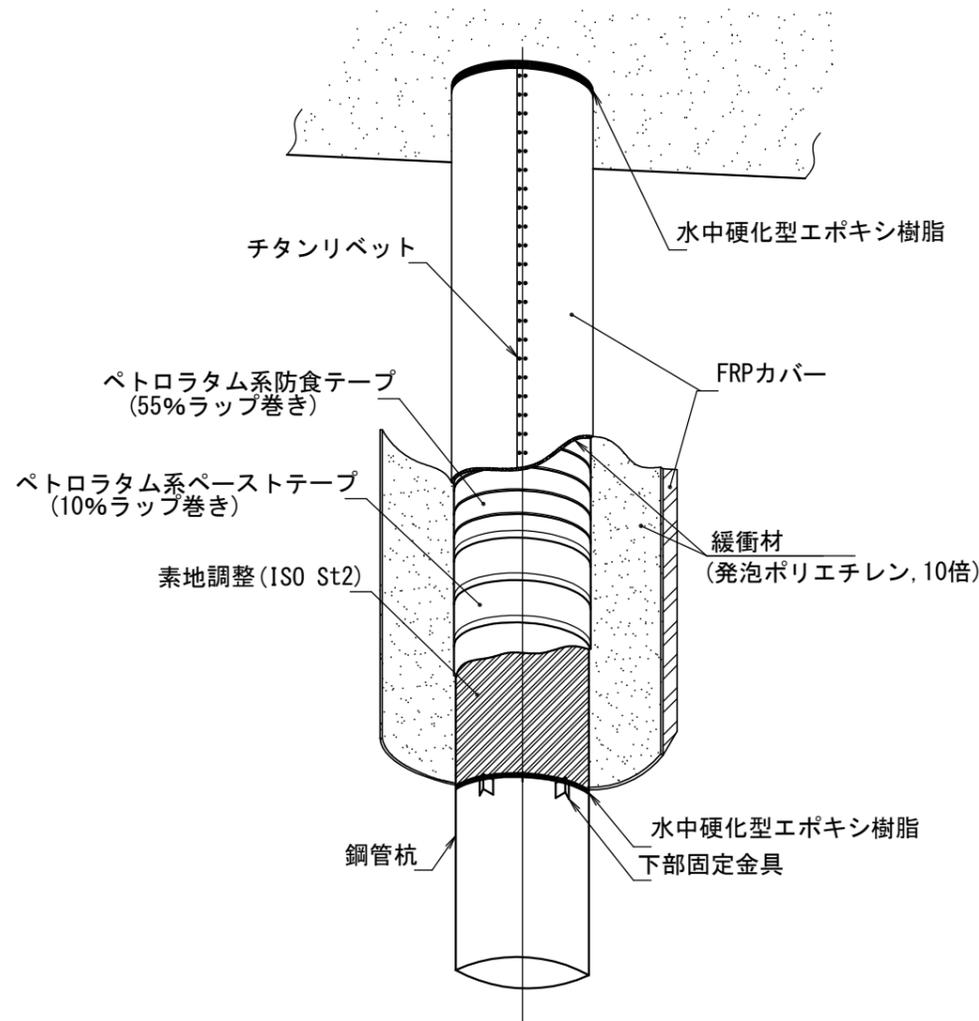
工種	単位	数量
モルタル被覆撤去	m <sup>2</sup>	19.1
下地処理(かき落とし)	m <sup>2</sup>	271.8
被覆防食	m <sup>2</sup>	271.8
端部処理	m	160.9
牡蠣殻処分	kg	326.1
既設アルミニウム合金陽極移設	個	24.0
既設アルミニウム合金陽極撤去	個	—
既設鋼管杭フラットバー撤去	箇所	72.0

下部工(被覆防食部) 平面図 S=1:500 u:m



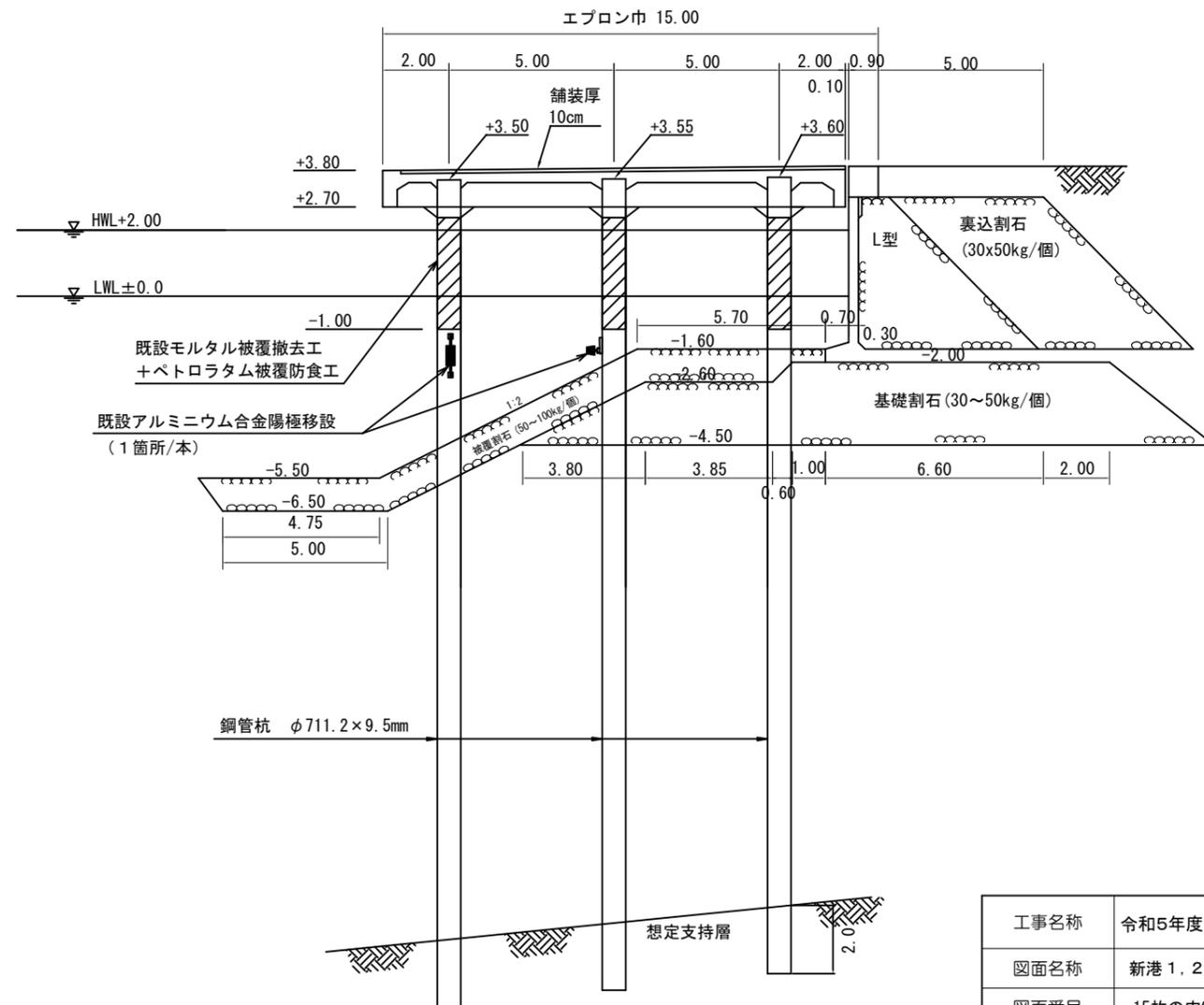
● : 補修範囲(被覆防食工)

ペトラタム被覆概要図 S=NONE



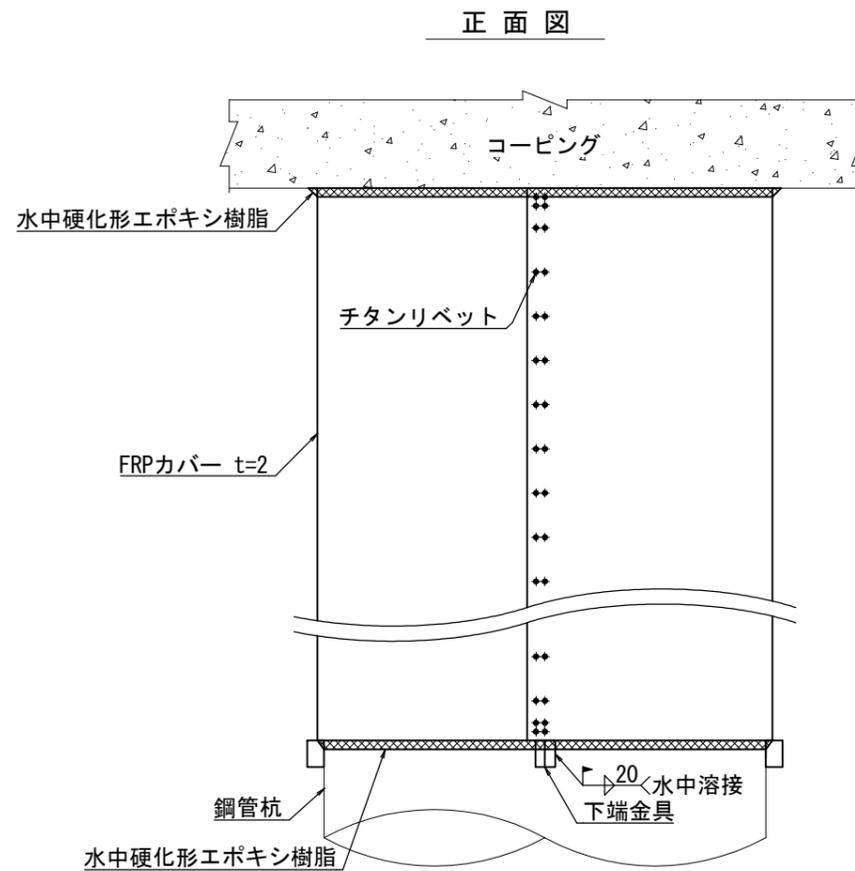
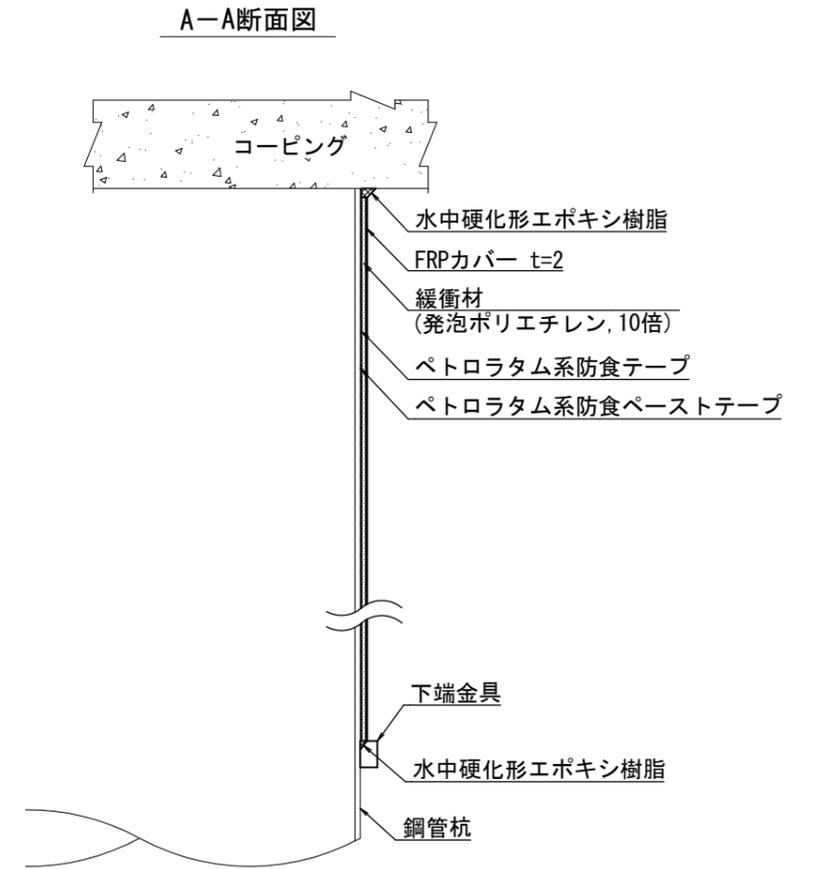
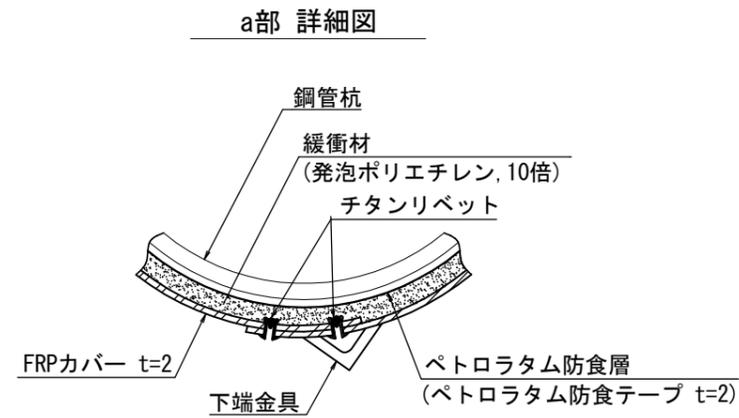
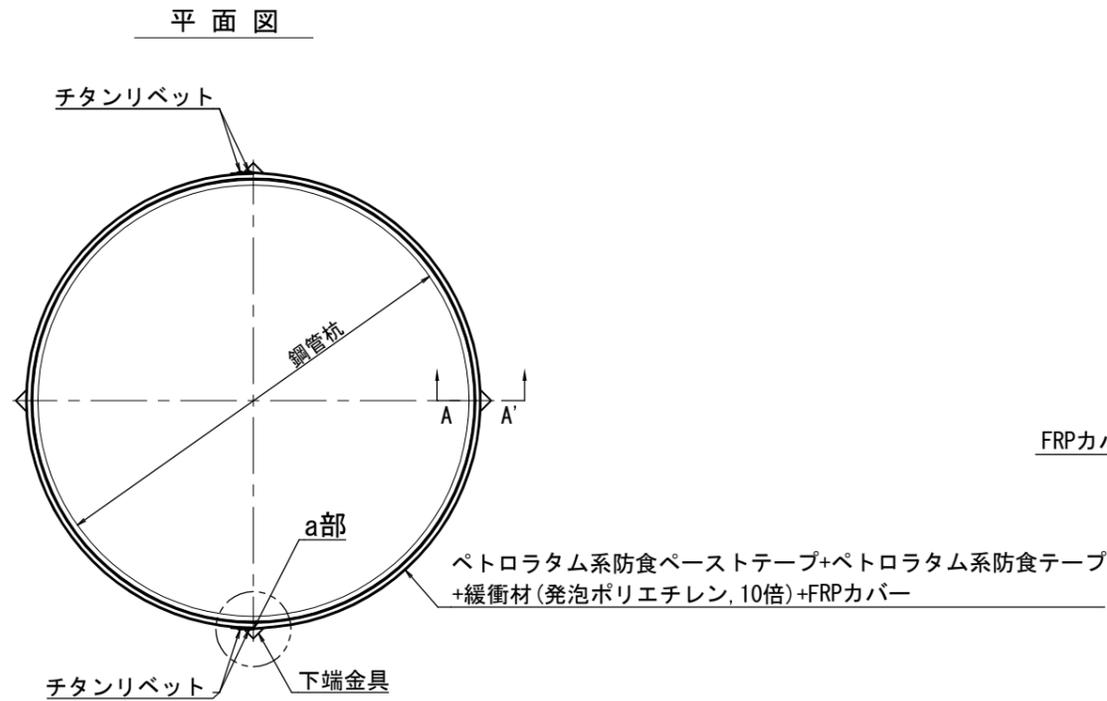
標準断面図 S=1:200 u:m

▨ : 補修範囲(被覆防食工)



工事名称	令和5年度新港地区新港1,2号栈橋改良工事
図面名称	新港1,2号栈橋下部工(被覆防食部)補修図
図面番号	15枚の内9 縮尺 図示

# ペトラタム被覆標準図 S=NONE



## 被覆仕様

単位: mm

項目	名称	材質	規格・形状
素地調整	—	—	ISO St 2 以上
締結金具	リベット	チタン	リベット径 4.0
防食材	ペーストテープ	ペトラタム系	JIS Z1903相当 t1 10%ラップ
	防食テープ		JIS Z1902 t1.1 50~55%ラップ (×2)
保護材	保護カバー	FRP	鋼管杭用 t2
	緩衝材	発泡ポリエチレン	10倍 (t10)
下端金具	下部固定金具	SS400	L-40×40×t5×50L
シール材	端部処理	水中硬化形エポキシ樹脂	二液硬化型 (主剤+硬化剤) 1Kg/m

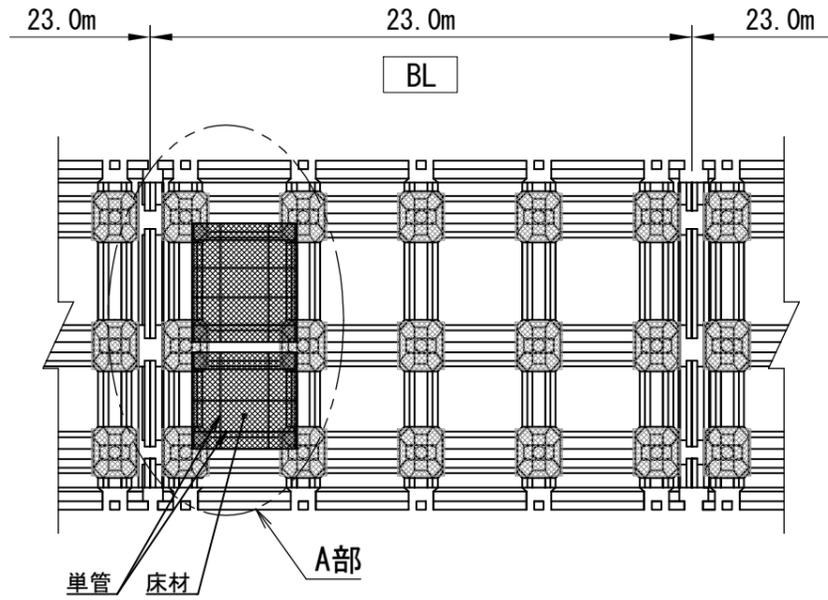
注) 保護カバーの色調については指定色とする。

工事名称	令和5年度新港地区新港1, 2号栈橋改良工事		
図面名称	ペトラタム被覆標準図		
図面番号	15枚の内10	縮尺	NONE

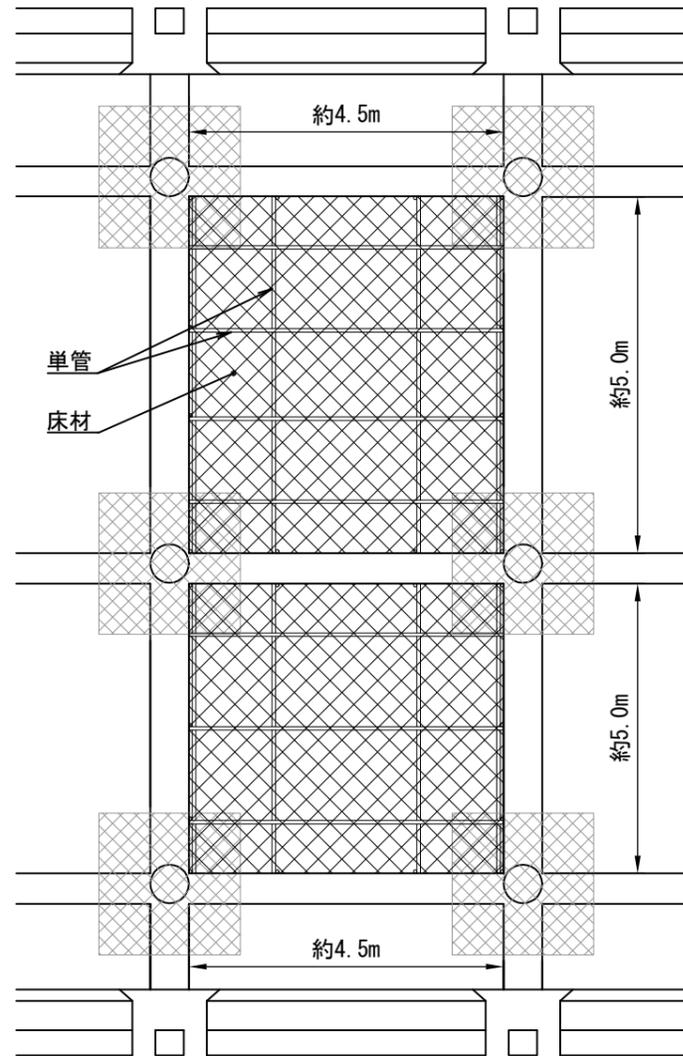
# 仮設足場参考図

(断面修復工/被覆防食工/既設鋼管杭補強工)

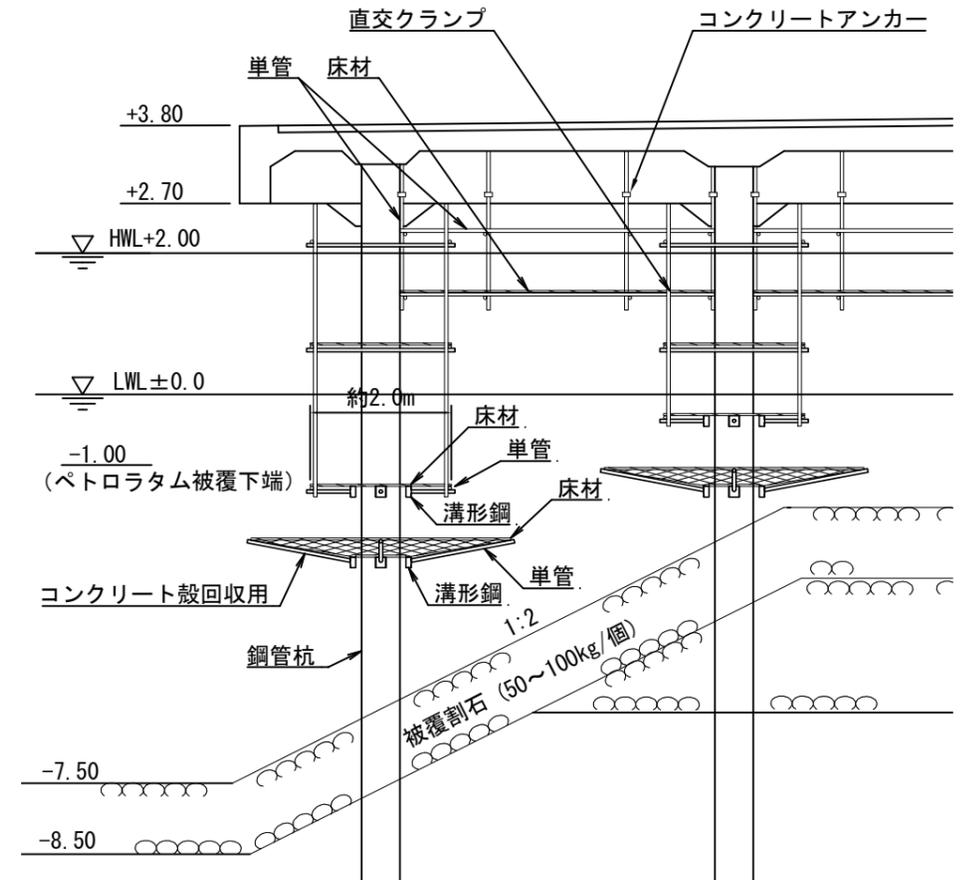
平面図 S=1 : 300



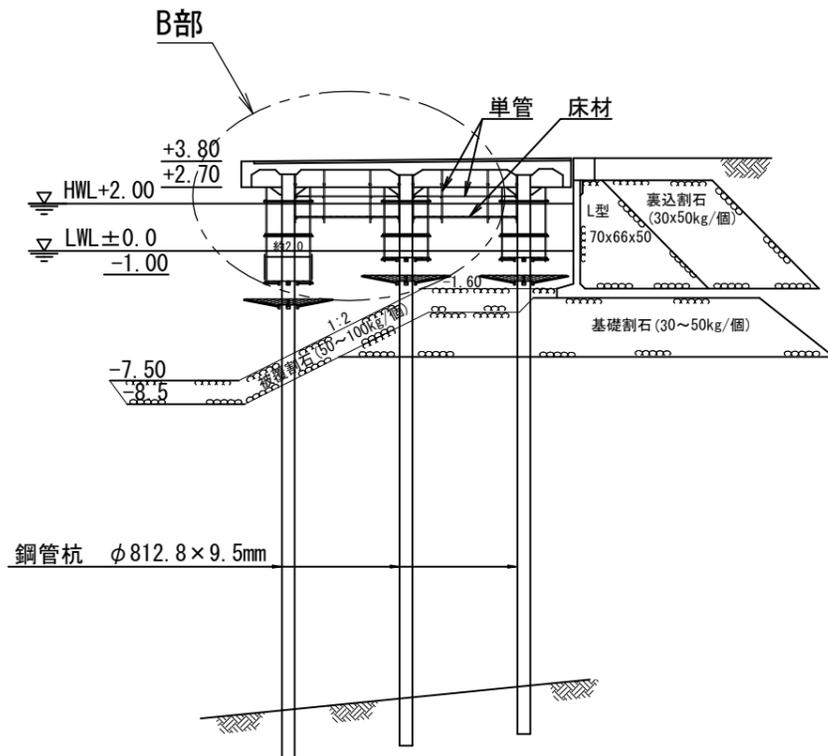
A部 詳細 S=1 : 100



B部 詳細 S=1 : 100

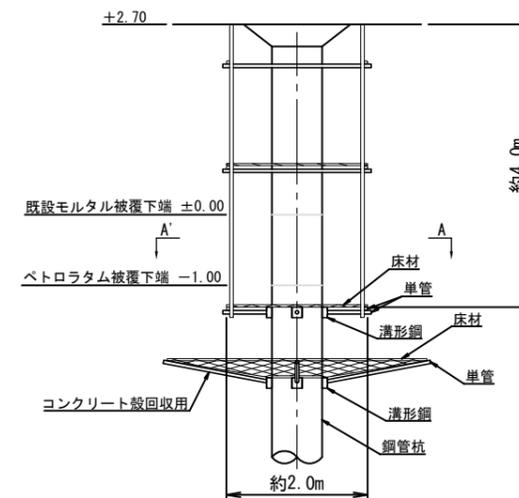


断面図 S=1 : 300

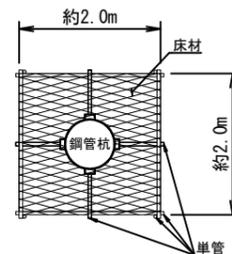


仮設足場参考図 S=1 : 100

(正面図)



(平面図 A-A')

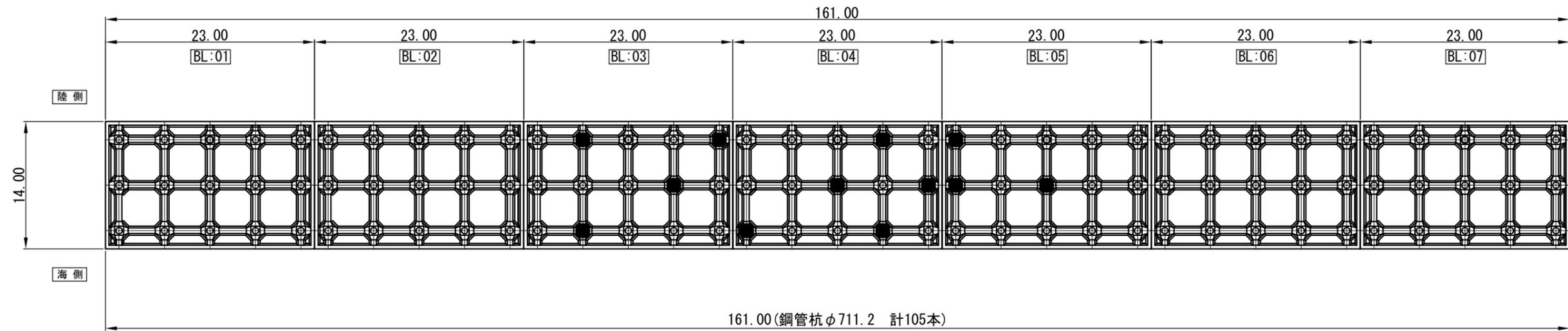


工種	単位	数量
仮設足場	m <sup>2</sup>	966.0

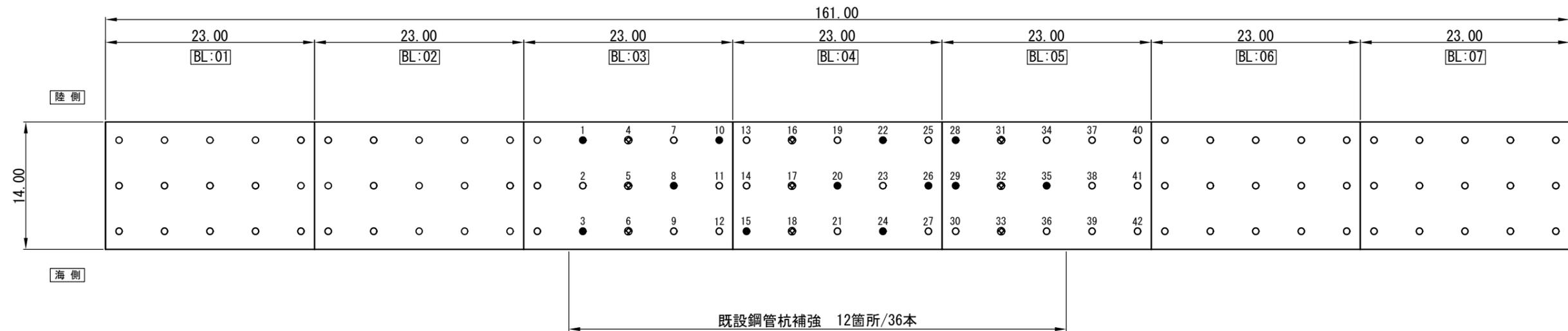
工事名称	令和5年度新港地区新港1, 2号栈橋改良工事		
図面名称	仮設足場参考図		
図面番号	15枚の内11	縮尺	図示

# 新港 1, 2号栈橋 補強平面図 S=1:500 u:m

## 上部工(下面部)



## 下部工(鋼管杭部)



### 凡例

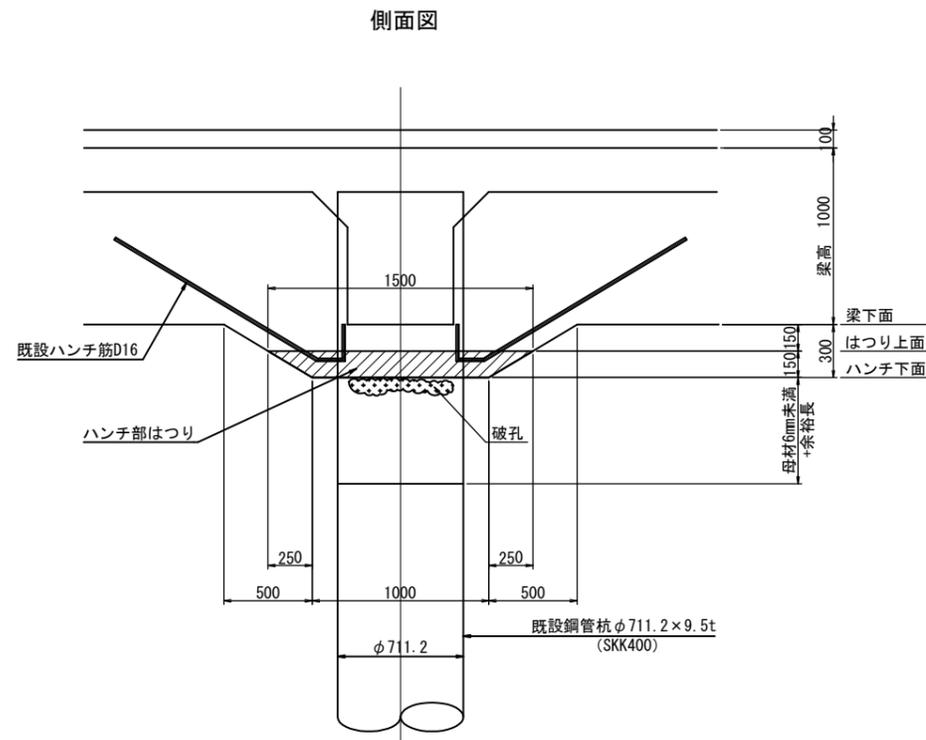
- 既設上部工はつり・復旧箇所 (N=12箇所・想定値)  
 ※モルタル被覆の撤去後に破孔杭・本数が確定するため、当初設計においては前年度の補修割合を参考にし、破孔杭の本数を想定値として12箇所(本)としている。  
 ※図示している破孔箇所は例として仮設定している。(例: No. 1, 3, 8, 10, 15, 20, 22, 24, 26, 28, 29, 35)
- 破孔箇所肉厚測定位置  
 ※破孔部周囲4測点 (12本×4面/本=48面)
- 健全箇所肉厚測定位置  
 ※2水深4方向測定 (例: 2×4面×3本/BL×3BL=72面) ※肉厚測定調査は別途発注

工事名称	令和5年度新港地区新港1, 2号栈橋改良工事		
図面名称	新港1, 2号栈橋補強平面図		
図面番号	15枚の内12	縮尺	1/500

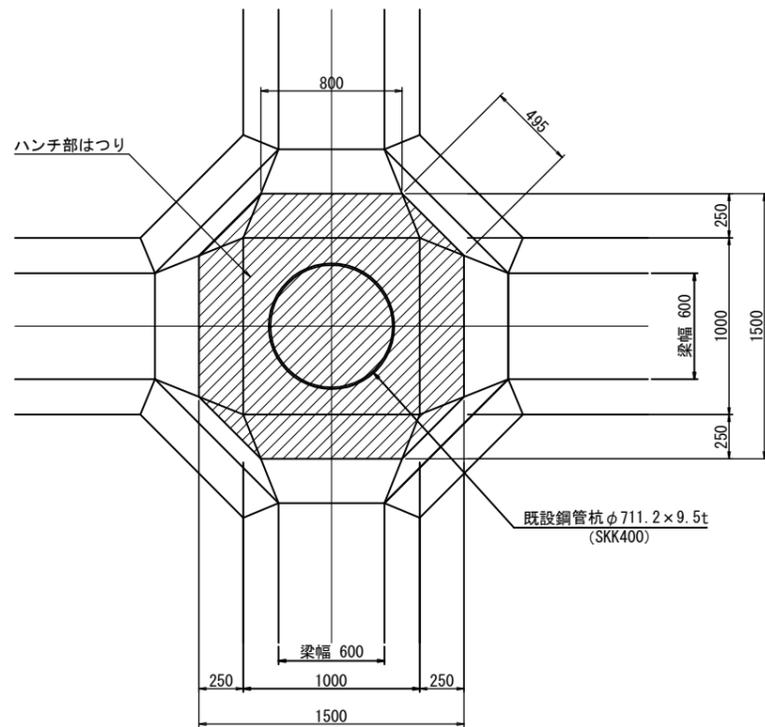
# 新港 1, 2号栈橋 破孔部補強図 (1) S=1:40 u:mm

破孔杭番号 例 : 1, 3, 8, 10, 15, 20, 22, 24,  
26, 28, 29, 35

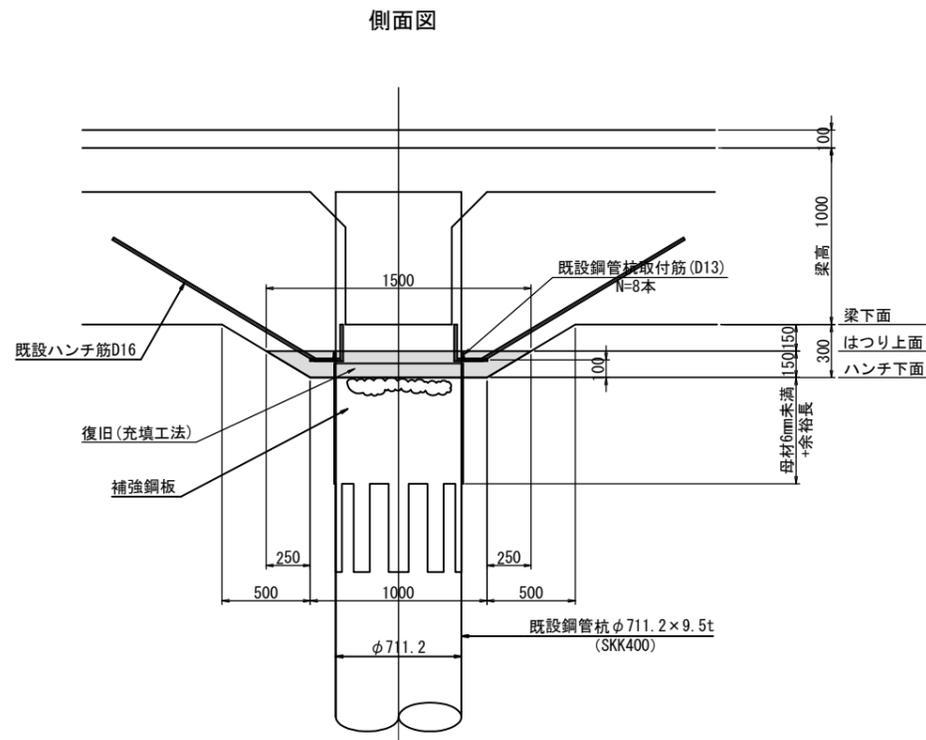
はつり詳細図



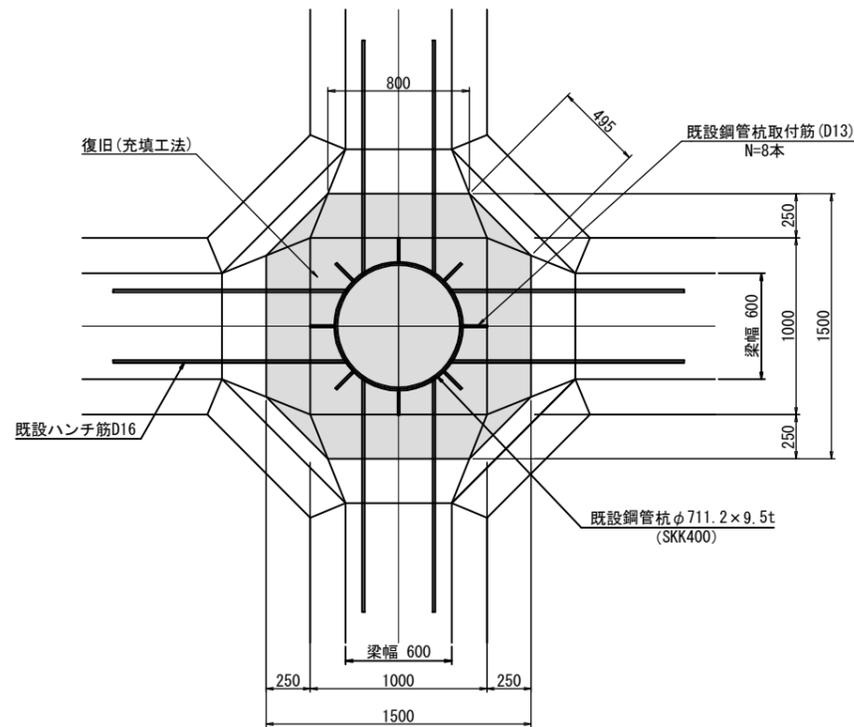
平面図



ハンチ部復旧図



平面図



工種	単位	数量
ハンチ部コンクリート研り	m <sup>2</sup>	2.7
型枠	m <sup>2</sup>	26.7
場所打コンクリート(充填工法)	m <sup>3</sup>	2.7
補修用鋼板加工(PL-9mm)	kg	1,962.4
水中アーク用溶接(隅肉, 脚長6mm)	m	174.0
水中アーク用溶接(V形, 開閉深さ6mm)	m	12.8
既設鋼管杭取付筋(D13×170)	kg	16.2
フラア溶接(S=6mm)	m	3.8

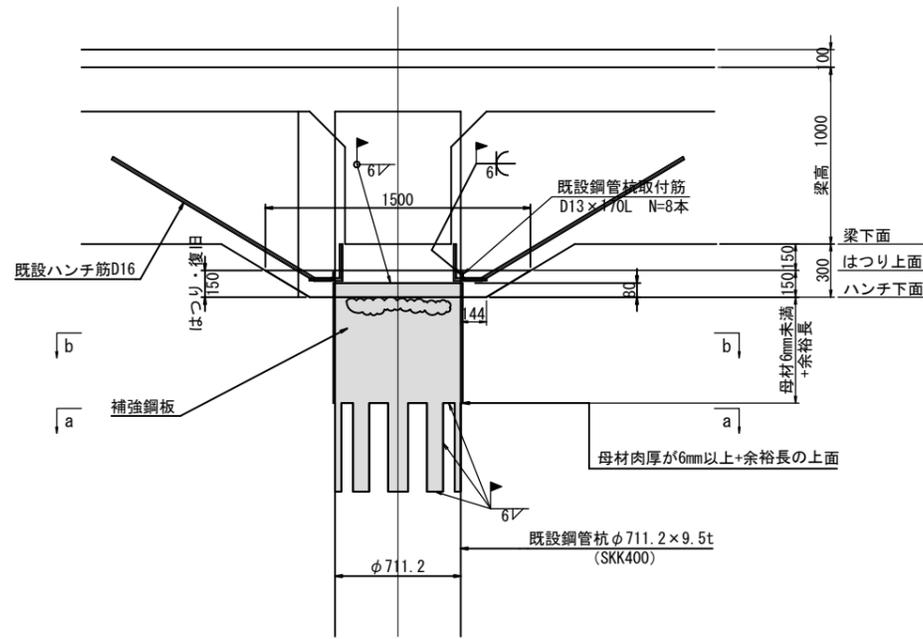
※想定補強杭 : φ711.2×9.5t 12本  
(12本の内、タイプ①4本、タイプ②8本を想定)

工事名称	令和5年度新港地区新港1, 2号栈橋改良工事		
図面名称	新港1, 2号栈橋破孔部補強図(1)		
図面番号	15枚の内13	縮尺	1/40

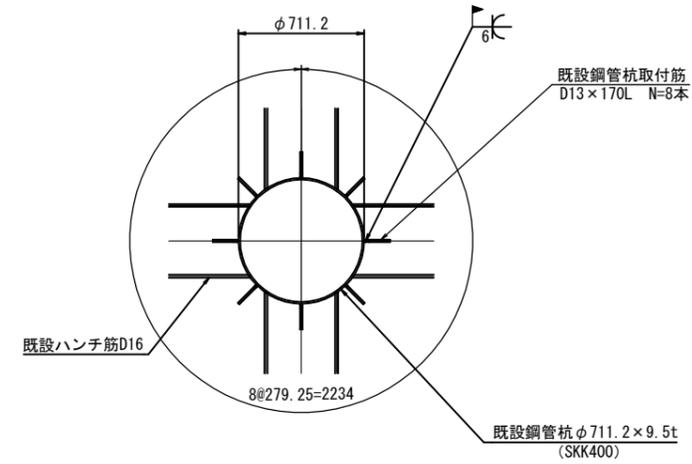
# 新港 1, 2号栈橋 破孔部補強図 (2) S=1:40 u:mm

破孔部補強図  
破孔杭番号 例 : 1, 3, 8, 10, 15, 20, 24,  
26, 28, 29, 35

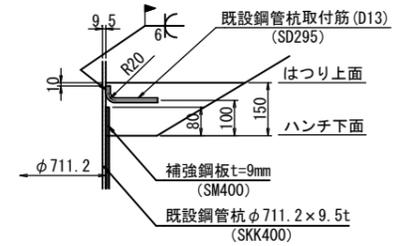
側面図



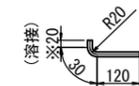
既設鋼管杭取付筋配置図



既設鋼管杭取付詳細図 S=1:20 u:mm

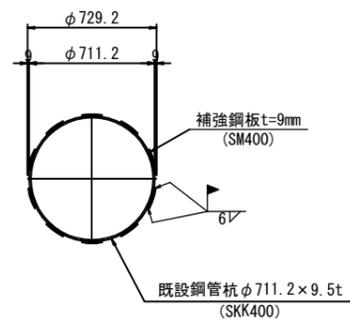


取付筋加工図

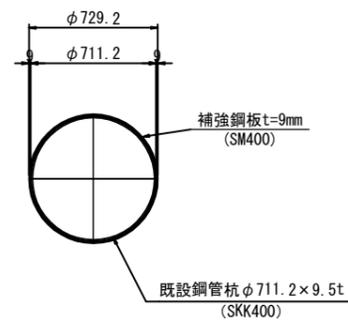


(杭1本当たり)  
D13 x 170L-8本  
W=0.169kg/本 x 8本=1.35kg

a - a



b - b

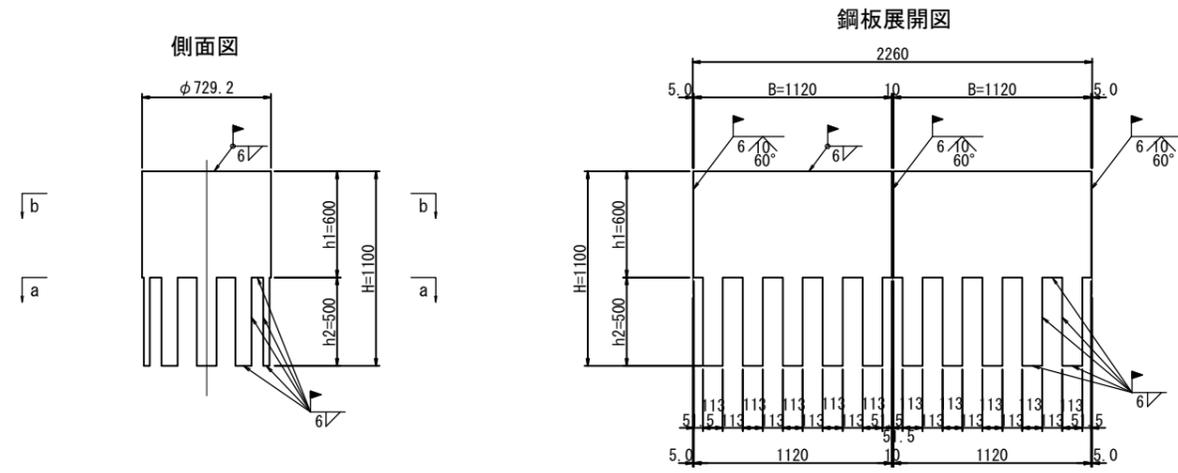


工事名称	令和5年度新港地区新港1, 2号栈橋改良工事		
図面名称	新港1, 2号栈橋破孔部補強図(2)		
図面番号	15枚の内14	縮尺	1/40

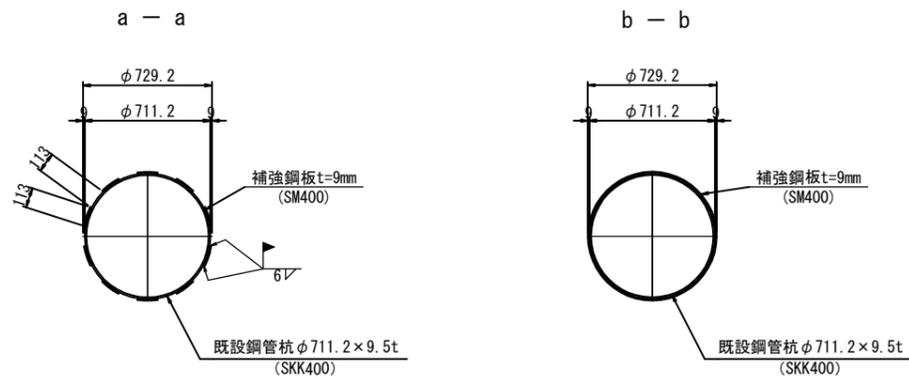
# 新港1, 2号棧橋 破孔部補強鋼板詳細図 S=1:40 u:mm

(タイプ① 破孔部補強鋼板)

破孔杭番号 例 : 1, 22, 24, 29

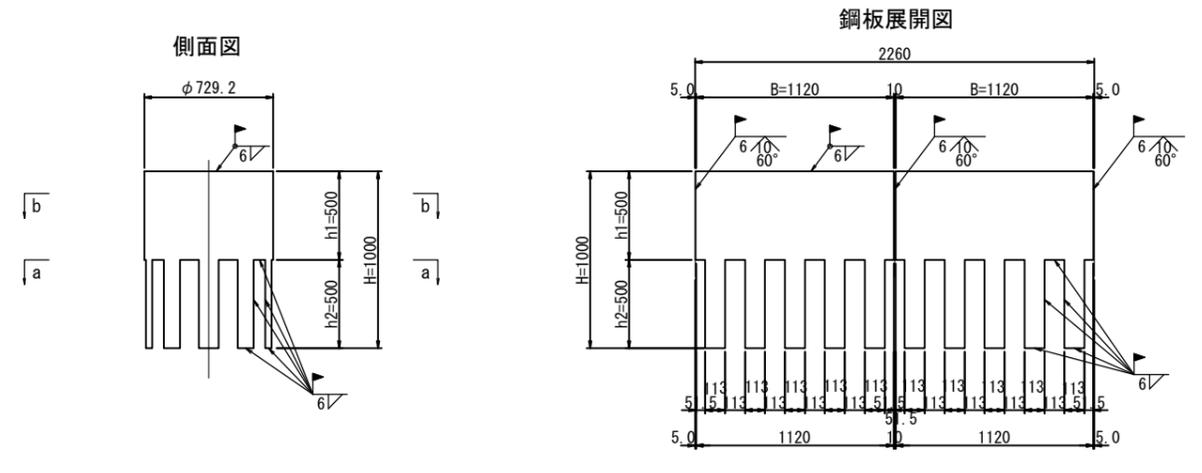


平面図

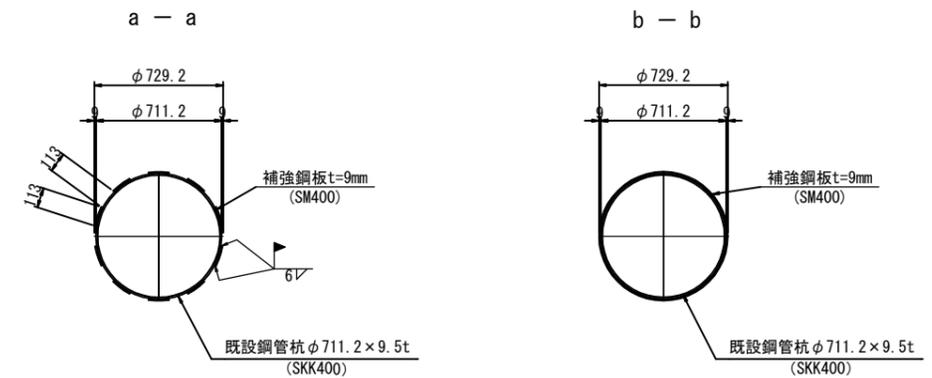


(タイプ② 破孔部補強鋼板)

破孔杭番号 例 : 3, 8, 10, 15, 20, 26, 28, 35



平面図



鋼板形状及び数量表

岸壁	ブロック	杭NO	プレート寸法 (mm)				スリット形状		単位質量 (kg/m <sup>2</sup> )	1枚当り質量 (kg)	枚数 (枚)	質量 (kg)	溶接長 (m)		鋼材パターン
			h1	h2	H	B	幅 (mm)	条数					隅肉	V型開先	
1, 2号	03	1	600	500	1100	1120	113	5	70.65	87.04	2	174.08	14.5	1.20	①
		3	500	500	1000	1120	113	5	70.65	79.13	2	158.26	14.5	1.00	②
		8	500	500	1000	1120	113	5	70.65	79.13	2	158.26	14.5	1.00	②
		10	500	500	1000	1120	113	5	70.65	79.13	2	158.26	14.5	1.00	②
	04	15	500	500	1000	1120	113	5	70.65	79.13	2	158.26	14.5	1.00	②
		20	500	500	1000	1120	113	5	70.65	79.13	2	158.26	14.5	1.00	②
		22	600	500	1100	1120	113	5	70.65	87.04	2	174.08	14.5	1.20	①
		24	600	500	1100	1120	113	5	70.65	87.04	2	174.08	14.5	1.20	①
		26	500	500	1000	1120	113	5	70.65	79.13	2	158.26	14.5	1.00	②
	05	28	500	500	1000	1120	113	5	70.65	79.13	2	158.26	14.5	1.00	②
		29	600	500	1100	1120	113	5	70.65	87.04	2	174.08	14.5	1.20	①
		35	500	500	1000	1120	113	5	70.65	79.13	2	158.26	14.5	1.00	②
		計									24	1,962.40	174.0	12.80	

※表中の各施工数量合計値は、想定破孔本数及び暫定タイプ別から算出したものであり、モルタル被覆撤去後に実際の施工数量が確定する。

工事名称	令和5年度新港地区新港1, 2号棧橋改良工事		
図面名称	新港1, 2号棧橋破孔部補強鋼板詳細図		
図面番号	15枚の内15	縮尺	1/40